

授業科目 放射線医学

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
日向 浩		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標 : GIO】 がん治療の3本柱は手術、放射線、抗がん剤である。切らずに治す放射線治療は体に対する負担も少なく、QOLの面でも重要度は増している。放射線治療を行うための装置、方法、治療効果等について学び、看護について必要な知識を得んものとする。さらに、がんの診断に必要な不可欠な最新の診断機器について講義する。					
【学習目標】 1. 外部照射、小線源治療の違い、治療体積の概念を理解する。 2. 放射線治療に対し、患者はどのような知識を求め、又不安を持っているかを理解する。 3. 核種のがんに対する放射線治療の効果、副作用について理解を深める。 4. 放射線を使った診断機器について理解を深める。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	診断における放射線				
2	放射線必要な基礎知識(放射線生物, 放射線の種類, 照射技術, 治療容積)				
3	放射線照射の実際 1. 胸部				
4	放射線照射の実際 2. 骨盤				
5	放射線障害と看護				
6	放射線治療に求められる看護				
7	放射線治療における最近の進歩				
8	まとめ				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 提出された課題レポートにより評価する。 出席状況も加味する。			【履修上の留意点】		